



和教組ゆるキャラみぱん

「未来をひらく教育のびどろ」 開催せまる!!

来る11月27・28日、伊都地方を中心に「未来をひらく教育のびどろ」を開催致します。

今年は学習会を企画しても、人数の制約や、「コロナ」感染自粛等で、なかなか広く呼び掛けることができませんでした。そこで、全体会、分科会共にオンラインで開催することになりました。

今年度は学習会を企画しても、人数の制約や、「コロナ」感染自粛等で、なかなか広く呼び掛けることができませんでした。そこで、全体会、分科会共にオンラインで開催することになりました。

全体会の見どころ (見る所)

27日全体会講師の前川喜平氏は文科省事務次官時代、「あったことをなかったことにできない」という言葉で公文書の隠へいに一石を投じたことで有名になりました。最近では国の「少人数学級」の呼び掛け人として、常に教育界をリードしておられます。官僚時代には言えなかった話に

期待が寄せられています。

視聴は橋本市産業文化会館や各支部会館で録画配信をします。また、ホームページから申し込むと、自宅からも視聴できますので、是非多くの方に広めて下さい。

やってみよう! オンライン分科会

28日の分科会は「コロナ禍でも...」コロナ禍だから一学校のあり方を見直す「です。一斉休校を経て、密のままの教室に戻り、教科書の遅れを取り戻しても、成長期の大事な時間を取り戻すことは出来ません。体力の低下。マスクに隠れた無気力な表情。同じ様に感じる人達が集まれば、子ども達の今の姿を客観的に捉え直し、教育課程に反映させたり、教育活動に必要なエッセンスやヒントを得たりすることができ

28日の分科会は「コロナ禍でも...」コロナ禍だから一学校のあり方を見直す「です。一斉休校を経て、密のままの教室に戻り、教科書の遅れを取り戻しても、成長期の大事な時間を取り戻すことは出来ません。体力の低下。マスクに隠れた無気力な表情。同じ様に感じる人達が集まれば、子ども達の今の姿を客観的に捉え直し、教育課程に反映させたり、教育活動に必要なエッセンスやヒントを得たりすることができ

トを得たりすることができるとしよう。直接顔を突き合わせることはできませんが、聞きたい、知りたい、話したいという気持ちがあれば、活発な話し合いに発展するのではないのでしょうか。ギガスクールへと一直線の学校に、あえてオンラインを使い課題を出し合っていきましょう。こちら和教組ホームページからも興味のある分科会番号を選んで下さい。

「ライブもドア」で ワープ!

午後から、特別企画「新型コロナウイルス」について話し合う「しゃべり場」や、開始される分科会もあります。昼休みにはオンラインで分科会を移動することが出来ます。ZOOM機能をフルに生かし、有意義な時間にしていきましょう。

記念講演

前川喜平氏

元・文部科学事務次官 現代教育行政研究会代表

1955年 奈良県生まれ 東京大学法学部卒

1979年 文部省(現・文部科学省)入省

2016年 文部科学事務次官、2017年 退官

現在、自主夜間中学のスタッフとして活動しながら、講演や執筆を行っている。

著書 「面従腹背」(毎日新聞出版社)

「これからの日本、これからの教育」(寺協研氏との共著。ちくま新書)など



「安倍教育再生」のねらい ～新型コロナからみえた教育行政～

道徳教育 # 教科書採択 # 少人数学級



389

菅首相が言う「自助・共助・公助」。自助とは「まずは、自分

で何とかせよ」、共助は「自分の力だけでだめなときは、家族や親戚、近所、地域で何とかせよ」ということ。自助を強調すれば、「自分でできないのは努力不足、自己責任だ」につながり、共助を強調すれば、例えば介護が必要な場合は、すぐに介護保険を使わず、まずは家族や親戚の力で何とかしなさいにつながります。

今、日本では「貧困なのは自分のせい」「非正規で働かなければならないのも自己責任」など「自己責任論」が幅を利かしています。この行き着く先は、弱肉強食の強烈な格差社会です。来るべき総選挙で、政治の流れを変えて、「公助」を充実させる政治を実現しよう!



(一)



教育要求 県民集会

私たちの切実な 思いを受け止めて!!

一〇月三日(金)、和歌山中央コミュニティセンターにて、「第五三回和歌山県教育要求県民集会」

が開催されました。このとりくみは一九七一年に一回目が開催され、今年で五三回を数えるという歴史のあるものです。

保護者や地域・市民団体の方々が、県教育委員会に教育要求を直接ぶつけ、過去には、高校の学級増設や障害児学校建設、父母負担軽減など様々な要求が実現してきています。

今年度は、一〇名の方々から、自分自身の子どもの様子などを交えながら、「少人数学級の実現を」「一人でも特別支援学級の新設を」「特別支援学校の新設



を「安心安全な給食を」「不登校の児童生徒に対してあたたかい対応を!」等、県教委に対し切実な要求が語られました。

今年には特にコロナ禍の中での子どもたちの置かれている大変な状況などが多く語られました。実感のこもった皆さんの訴えは非常に説得力のあるものでした。また、昨年度より事前に文書回答をしてもらったことにより、集会自身がコンパクトになっています。個別の要求に対する回答ももらえて、非常に意義深い集会となりました。

教育全国署名を広げ 少人数学級を実現しよう!



子どもたちが 安心して 学べる学校に

教育全国署名にご協力ください



今こそ、**少人数学級の前進**を
すべての小・中学校、高校で今すぐ35人以下学級を実現し、20人学級を確立し、少人数学級の前進を求めます。さらに幼稚園や特別支援学校の学級定員の改善を求めます。

法改正して、**せんせい ふやそう!**
子どもたち一人ひとりにゆきとどいた教育を実現するには、教職員の長時間労働が解消できるよう、教職員定数の本格的改正が必要です。

さらに前進
35人以下学級
40人学級
20人学級
いませぐ

ゆきとどいた教育をすすめる会
〒110-0004 東京都千代田区千代田1-1-1 全国教育文化センター
TEL: 03-6211-0123 FAX: 03-6211-0124
全教・全国私教連 教組共闘連絡会・全国私立父母懇・私学助成をすすめる会連絡会・全国各地のすすめる会

二〇二一年度の文部科学省の概算要求が九月末に出されました。教職員定数に関わるところで、具体的に要求されているのは二〇二〇年度と同じ「小学校専科指導」「通級指導等の基礎定数化」のみで、基本的に加配定数の付け替えとなっています。自然減等により五九八人、約二億円の減が示されています。

一方でこの間の「少人数学級」への世論の高まりの中で「学級編制の標準の引下げを含め、少人数によるきめ細かな指導体制の計画的な整備について、経済財政運営と改革の基本方針二〇二〇を踏まえ、予算編

成過程において検討することとする」として、予算の明示のない「事項要求」となっています。概算要求に「学級編制の標準の引下げ」が書き込まれたことは、一定の評価はできますが、財務省は難色を示しています。少人数学級を実現させるためには、「教育全国署名」のとりくみを例年以上のとりくみにし、少人数学級を求める声をより一層高める必要があります。

みなさん、「教育全国署名」のとりくみを今まで以上にたくさんの人に呼びかけたのりくみにしましょう。

日高支部 青年部カフェ

のとりくみ



集まって話して ホッと一息

七月に開催したスタート講座で「愚痴や悩みを言い合える場を大切にしてください」との発言をきっかけに、青年部が主体となって毎月一回カフェを開くことを決めました。

第一回の一〇月八日は少し強い雨が降っており、三名の参加と少ないながら、組合のことや青年部活動のアイデアについて話すなど、充実した時間を過ごし

ました。

また、職場のことや定時に帰れるようにしている工夫、趣味、休日の過ごし方など、次から次に話題が広がりました。気が付けば終了予定を一時オーバーしてあり、まだまだ話し足りない様子でしたが翌日のことも考え切り上げました。

未組合員も含めもっと多くの人に参加してもらいたいと考えています。職場や実践の悩みなどを話し合うことで、要求やとりくみが生まれ、これからの組合活動につながります。今後カフェのとりくみを続けることで教職員のつながりを広め、組合活動や職場つくりを生かせればと考えています。

これから寒くなる季節。温かな飲み物を用意して、心も体も温かくできるように取り組んでいきたいと思っています。



栄養職員部

オンライン交流会、無事成功!

栄養職員部書記長 中田 智子



で開かれる教育のつどいもバツチリ(のはず)です。交流会では、コロナ禍での近況について情報交換をしました。給食は、前を向いて会話をしないのが子どもたちにとって当たり前になってきているようで、みんなでワイワイ楽しく食べる事ができないのは残念です。一方、今まで後回しにされていた教室や給食室のエアコン設置が急ピッチで進められたなどよい影響もあったようです。会を企画した時は、初心者だけで上手いのか

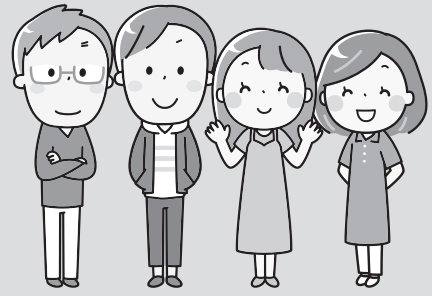
気をもみましたが、いざやってみると普段会えない育休中の仲間と会えたり、オンラインクッキングが可能か試せたり、結果的にやってよかったです。参加者からも「二時間あつという間だった」「みなさんのお話を聞いていい刺激をもらえた」「ほっとひと息つける交流会で、今の自分にはこういう場が必要だったんだなと感じた」等の感想をいただきました。オンライン交流会は無事成功です。

みなさんは、もうオンラインミーティングなるものを体験しましたか? 栄養職員部では、一〇月二五日に気軽に参加できるオンライン交流会を開催しました。今月末にZOOM

みなさんで普段の悩みを言い合うことで、心が穏やかになるだけでなく、悩みが整理され、一人では考えつかなかった解決策が得られることもあります。オンライン・オフラインに関わらず、もっとたくさん仲間とお話できる事を願っています。

私の

human library



5 子どもをまるごととらえ、子どもの思いに心を寄せる

有田支部 書記長 清水 恵



もつずいぶん昔のことですが、私が初任の頃はユニークな先輩の先生がいっぱいいました。私自身は三年生の少し元気の有り余った子ども達を担任して、毎日四苦八苦していました。

そんなとき、四年生を担任していた少し年配の先生に、悩んでいることをお聞きすることが多くなりました。その先生は、見た目が少し強面で、私から見ても子どもが安心して関われる

ようには思えない風貌でしたが、私が初任の頃はユニークな先輩の先生がいっぱいいました。私自身は三年生の少し元気の有り余った子ども達を担任して、毎日四苦八苦していました。

私には思えない風貌でしたが、私が初任の頃はユニークな先輩の先生がいっぱいいました。私自身は三年生の少し元気の有り余った子ども達を担任して、毎日四苦八苦していました。

ある日、少し学級では居づらい一人の子どもが職員室に遊びに来て、その先生の禿げた頭を軽くたたきました。その光景を見て、私はドキッとしました。その先生が、怒るのではないかと思ったからです。ところが、怒るところか、その子どもに「どうしたんか」と優しく語りかけるのです。その子は、「何にもないよ」と笑顔で答え職員室を出て行きました。

私は、どうしてそんな対応ができるのか不思議で、その日がたまたま土曜日だったので、夜家にお誘いいただき、お酒を飲みながら子ども談議に花を咲かせました。子どもをまるごととらえる、子どもの思いに心を寄せる、教師として大切なことを教えていただきました。

また、私の空き時間にその



**安心
と
信頼**

教職員のための

『教弘保険』

(株)和歌山教弘

提携会社：ジブラルタ生命保険株式会社

■和歌山第一営業所 073-421-8250

■橋本営業所 0736-33-1620

■和歌山第二営業所 073-421-8250

■田辺営業所 0739-22-5751

■和歌山第三営業所 073-421-8250

■新宮営業所 0735-22-0101